

# 葉山町における環境アセスメント



東京都市大学 環境学部 環境創生学科  
田中章（ランドスケープ・エコシステムズ）研究室

## ◆ 葉山町の現状

- ・市街化区域内の貴重な緑として保全すべきと考えていた**傾斜地 山林**が、新たな宅地供給地となったことなどにより**減少している**
- ・第四次葉山町総合計画策定に向けたアンケート調査結果から、町民が**緑の保全を強く望んでいる**
- ・町は自然的土地利用と都市的土地利用の調和を図りながら、葉山町の豊かな自然環境に恵まれた住環境の維持向上をめざし、地域の特性を踏まえた総合的・計画的な土地利用を進めるとしている
- ・「葉山町緑の基本計画」において開発行為など都市的土地利用による自然環境等に与える影響を評価する仕組み（**ミニアセスメント**）の**調査・研究を進める**としている

## ◆ 環境アセスメントとは

- ・環境にどのような影響を及ぼすかについて、あらかじめ事業者自らが調査、予測、評価を行い、その結果を公表して一般の方々、地方公共団体などから意見を聴き、それらを踏まえて環境の保全の観点からよりよい事業計画を作り上げる制度
- ・重大な環境影響を未然に防止し、持続可能な社会を構築していくためにとても重要である
- ・結果を事業内容に関する決定に反映させることにより、事業が環境の保全に十分に配慮して行われるようにする

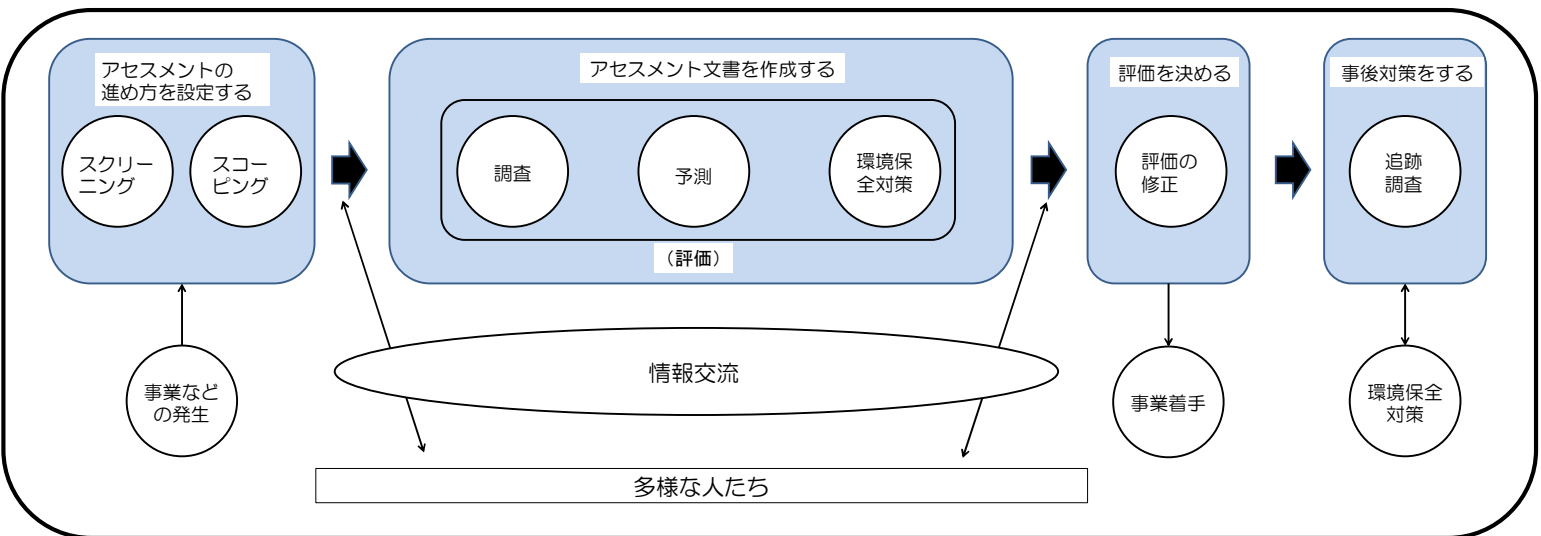


図1 環境アセスメントの流れ

## ◆ 環境アセスメント導入により見込まれる効果

- 事前に発生する可能性のある環境社会影響と予測し、その対策を組み込む機会を与えられる
- 地域の住民だけでなく、市民団体や各分野の専門家、関係機関などからのアドバイスや要望を事業計画に取り込める
- 開発事業が環境や社会に及ぼす影響を最小限にとどめる
- 事業者と市民のコミュニケーションを促進するツールとなる
- 町民の理解を得て、協力関係を築ききっかけとなる

## ◆ 葉山町への環境アセスメント導入に向けた提案

### “2ページアセスメント”

↓  
結果を2ページにまとめる、超簡易的なアセスメント  
事業内容、開発区域の状況、考えられる影響、影響に対する対策を記載

- アセスメントの入口を簡易にすることが出来る
- 問題がある開発に対しては詳細なアセスメントを課す、2段階組み
- 2ページに抑えることで誰にでも分かりやすい形にする
- アセスメントの結果はホームページで公開し、誰でも見れるように

## ◆ 2ページアセスメントのイメージ図

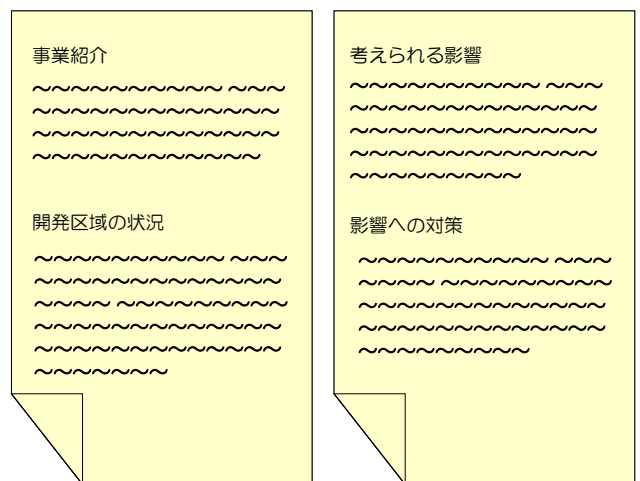


図2 2ページアセスメントのイメージ図

## ◆ 引用・参照

- 浦郷昭子（2013）環境アセスメントとは何か.1-12.環境アセスメント学会編,環境アセスメント学の基礎.恒星社厚生閣,東京都,222pp.
- 葉山町（2015）第四次葉山町総合計画,葉山町,神奈川県155pp.
- 葉山町（2016a）葉山町都市計画マスタープラン（改定）. 葉山町, 神奈川県, 91pp.
- 葉山町（2016b）葉山町緑の基本計画（改定版）. 葉山町福祉環境部環境課, 神奈川県, 96pp.